



# LEA

PROFESSIONAL



Dante  
**CONNECTSERIES**

USER MANUAL

# 安全のために

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

 **警告** この記号は取扱を誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

## 本書をすべて読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書をすべてよく読み、本書の内容にしたがってください。



必ず実行

## 電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



必ず実行

## 確実に接地すること（アース）

感電を防止するため、確実にアースに接続してください。



禁止

## 水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。この製品を直接水がかかる場所、または湿度の高い場所に置かないでください。感電や火災、故障の原因になります。



必ず実行

## 電源コードや接続ケーブルは安全に配置すること

ケーブルをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、ケーブルが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っかけるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



禁止

## 電源コードを濡れた手でさわらないこと

感電の原因になります。



禁止

## 大音量で使用しないこと

この製品をスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



必ず実行

## 異臭や異常を感じたらただちに電源コードを抜き、修理を依頼すること

正常に機能しない、異臭や異音が生じるなどの場合は、修理をご依頼ください。



必ず実行

## 電源コードや電源プラグに異常がある場合は使用を中止し、修理を依頼すること

電源コードやプラグの摩耗、接触不良等の場合は本体を使用せず、修理をご依頼ください。



必ず実行

## 長時間使用しないときや落雷の危険があるときは電源コードを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



禁止

## CD-ROMを一般のオーディオCDプレーヤーで再生しないこと

大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する可能性があります。



禁止

## 本体の換気用開口部をふさがないこと

本体内部の温度上昇を防ぐため、この製品の表面には換気用開口部があります。この開口部をふさぐと適切に換気ができず、内部の温度が上昇して故障や火災、誤作動の原因になる場合があります。

**警告** この記号は取扱を誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



**本体を落下しないこと**  
本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



**本体内部に液体や物を入れないこと**  
火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



**製品を分解したり改造しないこと**  
火災や感電、けが、故障の原因になります。本体の内部にはお客様が操作する部分はありません。



**電源プラグに手が届くよう設置すること**  
この製品の背面には電源を遮断する電源プラグが付いています。この電源プラグに簡単に手が届くよう設置してください。



**他の機器やスピーカーと接続するときはあらかじめアンプの電源を切っておくこと**  
接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。



**アンプの通電中は出力ターミナルやスピーカーケーブルの心線にさわらないこと**  
パワーアンプの出力には危険な電圧がかかっています。この電圧に触れると死亡または負傷の原因になる場合があります。



**電源コードは必ずこの製品に付属のものを使うこと**  
適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。

**注意** この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



**高温になる場所に設置しないこと**  
直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもろうそくなど裸火を置かないでください。



**テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと**  
この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。



**アンプには必ず定格インピーダンスに適合するスピーカーを接続すること**  
インピーダンスが合わないとアンプが故障する原因になります。



**ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと**  
本体の故障やお使いになる方がけがをする原因になる場合があります。



**この製品に付属している電源コードを他の電気用品に使用しないこと**  
この製品に付属している電源コードはこの製品専用のもので、他の電気用品には絶対に使用しないでください。

IOT (Internet of Things) 対応、プロフェッショナルグレードのアンプファミリー「Dante Connect Series」を発売します。2チャンネル、4チャンネル、8チャンネルのアンプで、チャンネルごとにHiZ (70Vまたは100V) またはLoZを直接選択できるため、小規模から中規模の設備に最適です。WiFiアクセスポイント、会場のWiFi、FAST 10/100MB Ethernetの3つの接続方法で、Cat5/Cat6ケーブルでローカルエリアネットワークに接続することができます。

Dante Connectシリーズは、プロフェッショナル向けアンプシリーズとして初めてクラウド接続機能を搭載しています。ソフトウェアのダウンロードは不要で、お手持ちのデバイスからリモートコントロール、モニタリング、通知など、クラウドのパワーを活用できます!ソフトウェアのダウンロードは不要です!アンプをネットワークに接続するだけで、システムに指示を出すことができます。

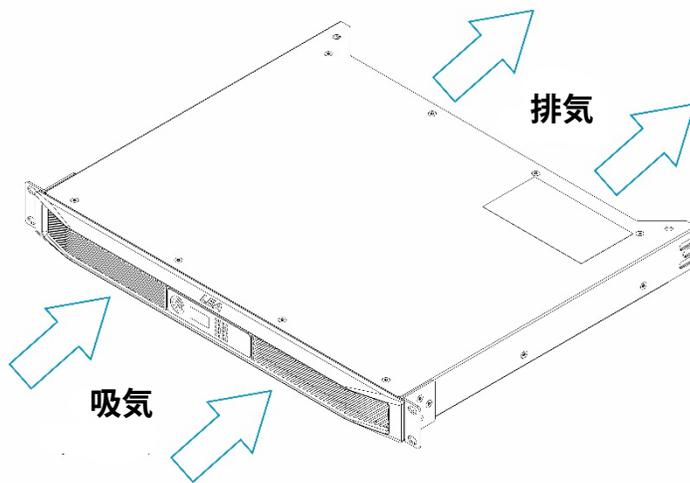
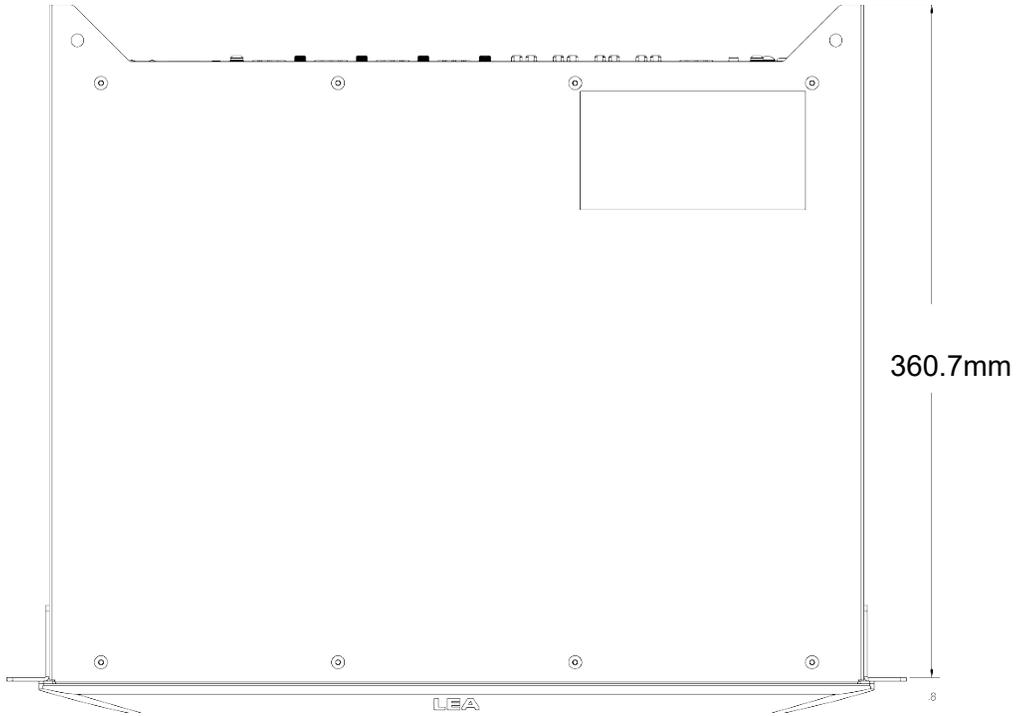
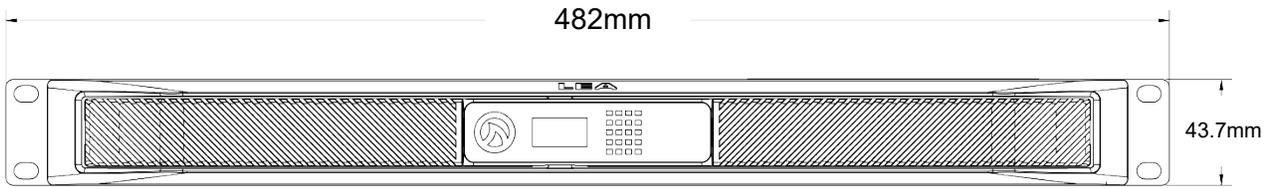
クラウドとWeb UIを活用することで、インストーラーがサービス契約にモニタリングや予防的なシステムメンテナンスを追加し、継続的な収益源とすることが可能になります。また、Analog Devices社製96kHz DSPを搭載し、最大48dB/Octのフィルター、8つのパラメトリックEQ、スピーカー保護リミッターなど、WebベースのUIで制御できる多くの機能を備えています。

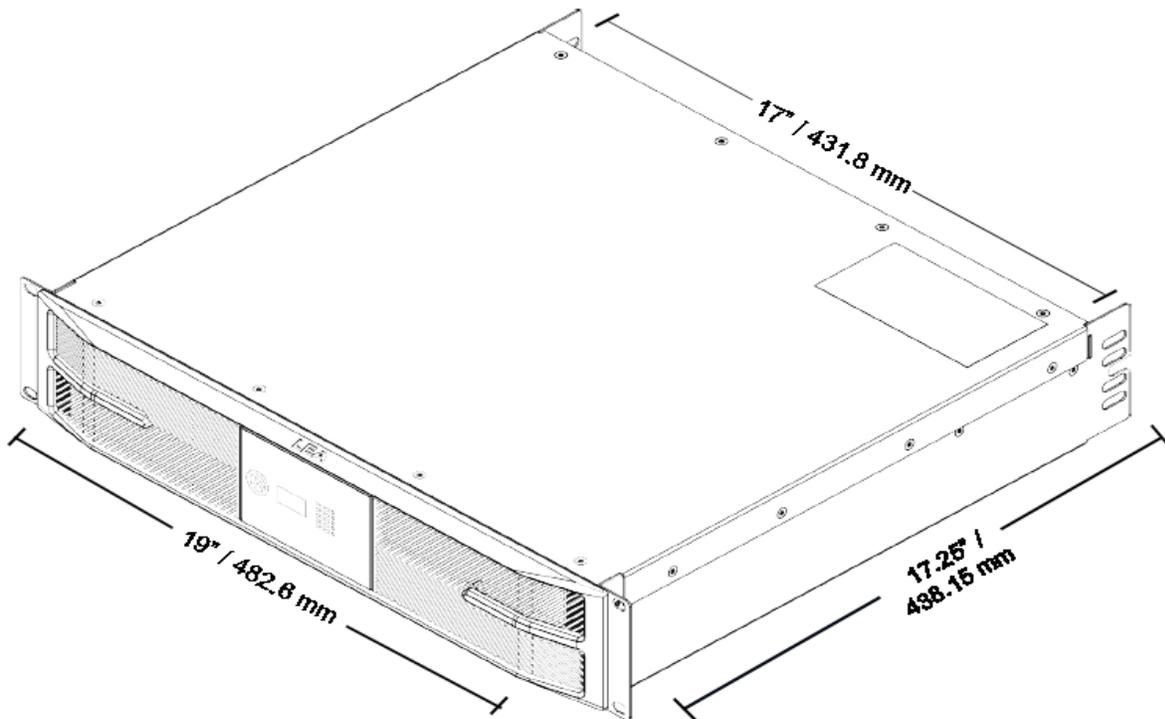
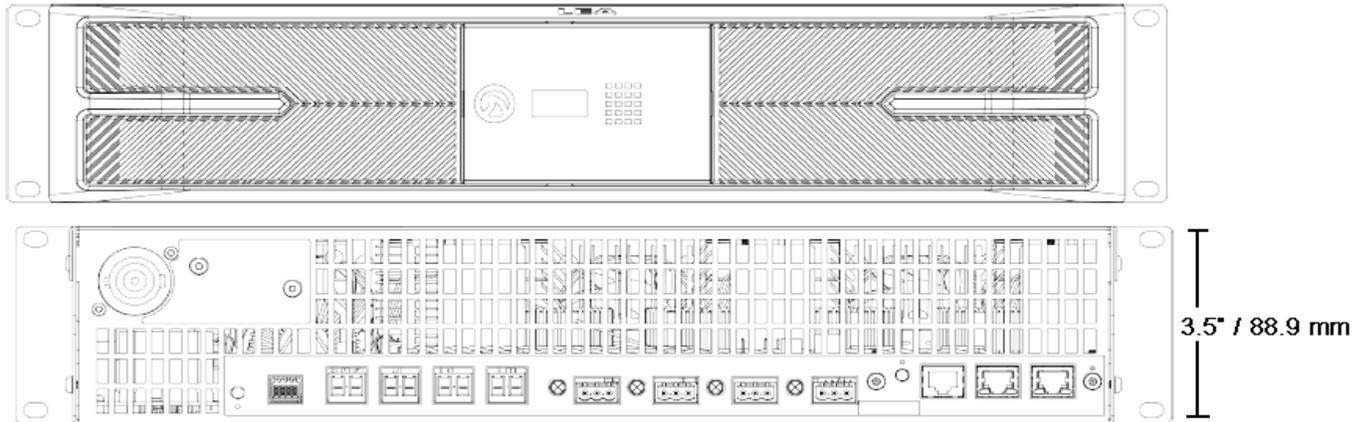
また、Dante Connectシリーズは、アナログ入力とDante入力、外部I/O制御によるリモートオン/オフ、故障監視機能を備えています。

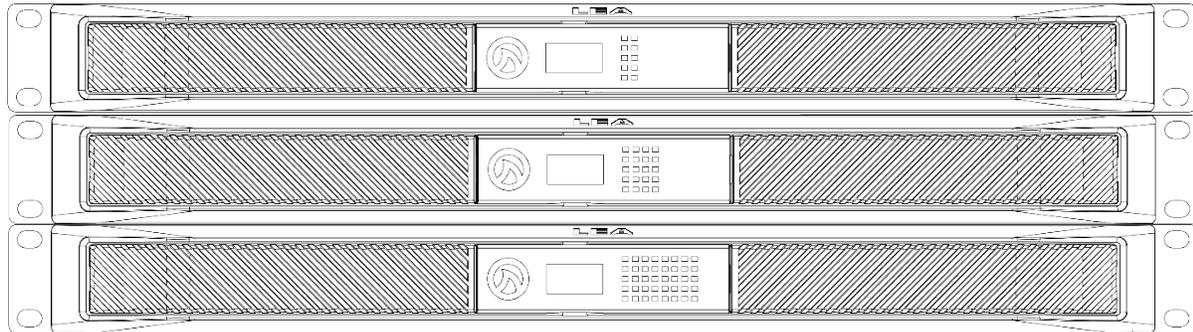
## MAIN FEATURES

- ① ウェブブラウザベースのUIは、どのデバイスでも動作し、ソフトウェアをダウンロードする必要はありません。
- ② ダイレクトLoZとHiZ (70Vまたは100V) をチャンネルごとに選択可能
- ③ 独自のスマートパワーブリッジにより、1つのチャンネルの出力パワーを犠牲にすることなく、2倍の出力パワーを得ることができます。
- ④ アンプに接続する3つの方法 1.) WiFiアクセスポイント内蔵 2.) 既存のWiFiに接続するネットワーク 3.) ローカルエリアネットワーク イーサネット接続
- ⑤ 3rdパーティーAPIは、市場で業界をリードするシステム・プロセッサのほとんどをサポート
- ⑥ 96kHz Analog Devices社製DSP、入力ルーティング、複数の48dB/Octクロスオーバー、8バンドパラメトリックEQ ユーザー設定可能なスピーカーリミッター、リアルタイムロードモニタリングを搭載。
- ⑦ PFC搭載のユニバーサルスイッチモード電源。100VAC~240VAC±10%で動作
- ⑧ Danteとアナログのフルルーティング可能な入力とバックアップ機能
- ⑨ リモートオン/オフ、故障監視用外部I/Oポート
- ⑩ 高効率なクラスD出力段により、低AC電流を実現。

出力	CONNECT 84 / D	4 × 80W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 40W @ 2Ω
	CONNECT 88 / D	8 × 80W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 40W @ 2Ω
	CONNECT 164 / D	4 × 160W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 80W @ 2Ω
	CONNECT 168 / D	8 × 160W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 80W @ 2Ω
	CONNECT 352 / D	2 × 350W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 175W @ 2Ω
	CONNECT 354 / D	4 × 350W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 175W @ 2Ω
	CONNECT 702 / D	2 × 700W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 350W @ 2Ω
	CONNECT 704 / D	4 × 700W @ 8Ω、4Ω、70V、100V / 350W @ 2Ω
	CONNECT 1504 / D	4 × 1500W @ 8Ω、4Ω、2Ω、70V、100V
音響特性	入力	アナログ×4：バランス / 入力感度26dB・34dB選択可能 Dante：8×8、48/96kHz、※Danteモデル AES67：Dante Controllerで設定 ※Danteモデル
	THD+N	0.1% (20Hz - 20kHz)
	周波数特性	+/-0.5dB@4/8Ω、70V、100V -2.5dB@20kHz 2Ω
	SN比	105dB (20Hz - 20kHz @8Ω)
	クロストーク	クロストーク70dB(20Hz - 20kHz)
	レイテンシー	1ms(条件により異なる) / 3.2ms (1504/D)
	負荷インピーダンス	Low-Z時：最大負荷2Ω / Hi-Z時：70/100V
	アンプ出力クラス	クラスD：スマートブリッジ技術
	DSP	DSP仕様
入力マトリクス		全ての入出力を任意にルーティング可能なマトリクス プライマリー/セカンダリーの優先設定 ※Danteモデル
クロスオーバー		最大48dB/oct IIR & FIRフィルター(Linkwitz Riley, Butterworth)
PEQ		8バンドPEQ / 各チャンネル
出力ディレイ		最大 100ms / 各チャンネル
出力保護		DC、VHF、およびAC 電源保護、過熱および電流制限、ファン障害検出
リミッター		ピーク電圧 および RMS電圧
負荷モニタリング		内部または外部ソースからのリアルタイム負荷モニタリングおよびパイロットトーン検出
制御 モニタリング	ネットワーク接続	Wi-Fiまたは100MB Ethernet(PoE対応)、または内蔵Wi-Fi アクセスポイント(IEEE802.11b/g/n WPA、WAP2、WEP)
	ユーザーインターフェース	Web UI、Shark Ware、サードパーティーAPI制御
	対応オペレーティングシステム	MAC、iOS、PC、Android
	イベントリポート	イベントログ、エラーログ
	外部接続入出力ポート	入力：リモート電源ON/OFF 切り替え 出力：アンプヘルス状況の送出
	クラウドIoT	クラウドベースのIoT機能
動作環境	主電源	100VAC - 240VAC ±15%、50/60Hz
	動作環境温度	保管時：-20° C - 90° C、操作時：0° C - 60° C
	消費電力	各機種仕様書参照
寸法・質量	寸法 (W × H × D)	W482mm×44mm×382mm / W482mm×88mm×483mm (1504/D)
	質量	各機種仕様書参照
	冷却機構	ファンノイズ：50dB@1m (アイドリング時)
	前面→背面速度可変ファン	ファンノイズ：57dB@1m (50% 動作)
		ファンノイズ：63dB@1m (100% 動作)
	コネクタ	アナログ入力：3ピンユーロブロック、出力：2ピンユーロブロック
		外部IO：8 Pin Amphenol Anytek
		電源入力：IEC / 32A Neutrik Powercon (1504/D)
イーサネット：RJ45 (制御用)、 RJ45 (Dante プライマリー/セカンダリー) ※Danteモデル		







### フロントパネルLCD

IPアドレス、アンプ名、WiFiアクセスポイントモード時のSSID、MACアドレスが表示されます。



### 簡単に脱着可能なグリル

フロントグリルは取り外し可能 洗浄可能なフォームフィルター付き



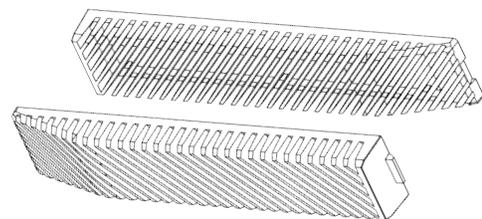
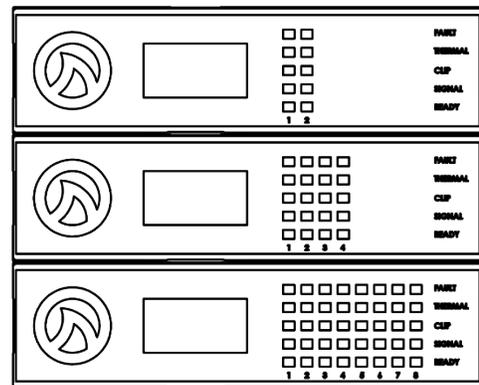
### LEA "Shark Fin" ロゴ

ACプラグインで青色、電源オンで青色に点灯します。



### チャンネルステータスインジケータ

- ① Channel Fault
- ② Channel Thermal
- ③ Channel Clip
- ④ Signal Presence
- ⑤ Channel Ready



### チャンネルステータスインジケータ詳細

Channel Fault - 保護回路によりチャンネルがシャットダウンしたことを示します。そのチャンネルの出力が短絡していないか確認してください。すべてのチャンネルがフォルトを示す場合、電源が保護回路に入ったと考えられます。故障が解消されるまで、音声は流れません。

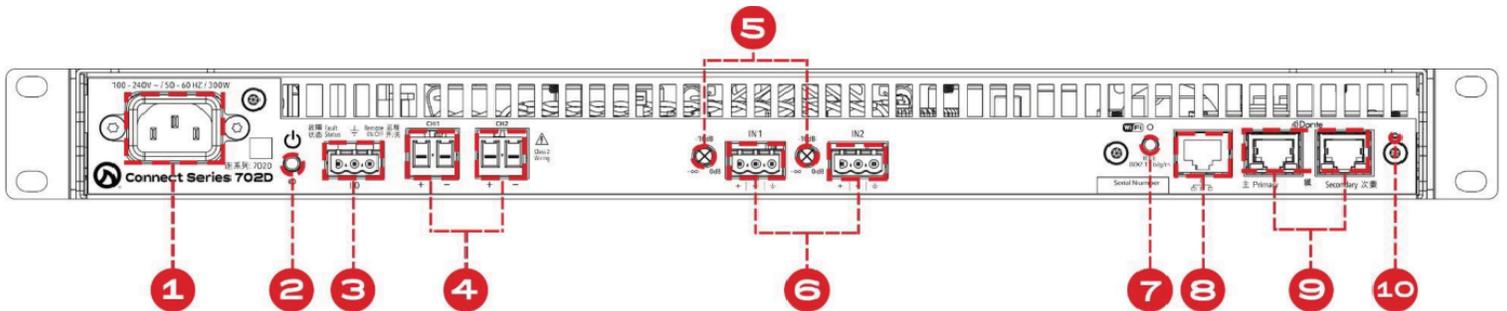
Channel Thermal-チャンネルがオーバー温度かそれに近い状態であることを示します。薄暗い場合、チャンネルは出力を軽く制限し始めます。明るい場合は、チャンネルが出力を大きく制限しています。

Channel Clip-赤色灯は、チャンネルが出力に可聴域のクリップを発生させることを示します。過度のクリッピングは、アンプに接続されたスピーカーを損傷する可能性があります。LEDが琥珀色の場合は、チャンネルがリミッターをかけていることを示します。

Signal Presence - 割り当てられた出力チャンネルに-40dbの入力信号が存在すると、このインジケータが点灯します。

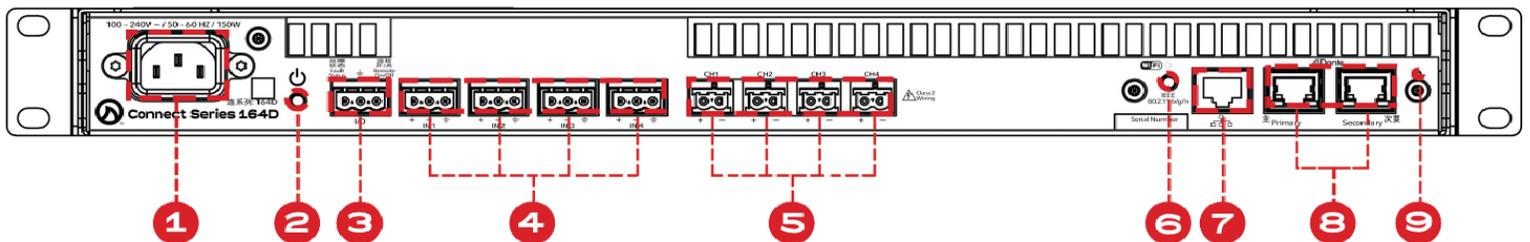
Channel Ready - チャンネルがオーディオを通過させる準備ができていることを示します。このインジケータが消灯している場合、チャンネルはスタンバイモードか、アンプのDSPが起動中である可能性があります。

## 2チャンネルモデル



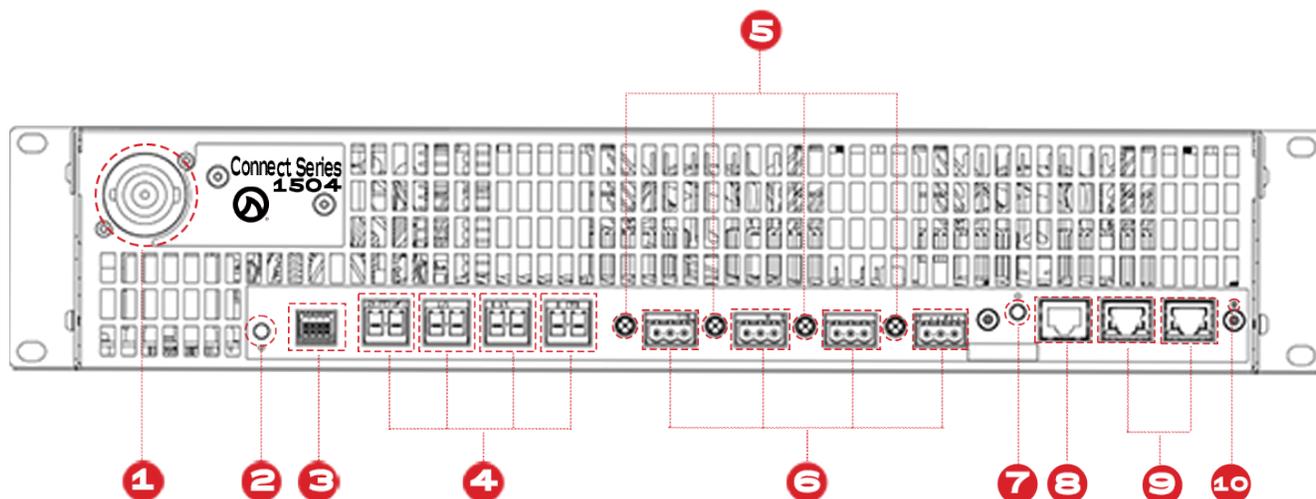
1. IECタイプインレット：着脱式IEC用コネクタを使用します。  
(100VAC-240VAC 50Hz / 60Hz)
2. 電源ボタン：ON/OFFボタンの状態は、以下のLEDで表示されます。  
(緑色：スタンバイ時 / 青色：電源投入時)
3. 外部I/Oポート：リモートON/OFF機能、故障状態
4. チャンネル出力：CH1, CH2 チャンネルごとにLowZ / 70V / 100Vを選択可能
5. チャンネルアッテネーター：CH1, CH2 ディテント式アッテネーターポット
6. アナログバランス入力：CH1, CH2 (入力感度26dB / 34dB)
7. 内蔵Wi-Fiアクセスポイント(WAP)：有効化/無効化ボタン
8. 高速10/100MBイーサネット：Cat5またはCat6 / 制御・監視用
9. Dante入力：プライマリー&セカンダリー
10. ファクトリーリセット

## 4チャンネルモデル



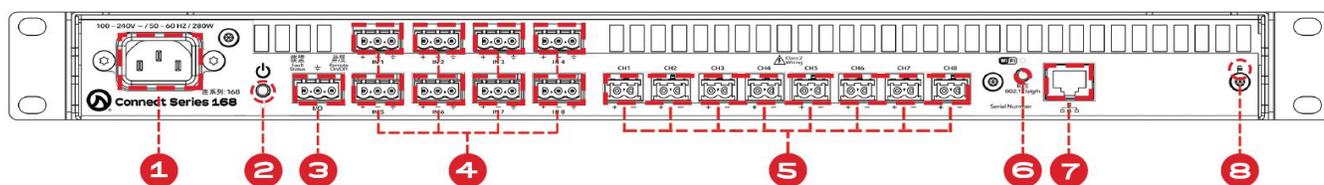
1. IECタイプインレット：着脱式IEC用コネクタを使用します。  
(100VAC-240VAC 50Hz / 60Hz)
2. 電源ボタン：ON/OFFボタンの状態は、以下のLEDで表示されます。  
(緑色：スタンバイ時 / 青色：電源投入時)
3. 外部I/Oポート：リモートON/OFF機能、故障状態
4. アナログバランス入力：CH1, CH2, CH3, CH4  
(入力感度26dB / 34dB)
5. チャンネル出力：CH1, CH2, CH3, CH4  
チャンネルごとにLowZ / 70V / 100Vを選択可能
6. 内蔵Wi-Fiアクセスポイント(WAP)：有効化/無効化ボタン
7. 高速10/100MBイーサネット：Cat5またはCat6 / 制御・監視用
8. Dante入力：プライマリー&セカンダリー
9. ファクトリーリセット

## 4チャンネルモデル



1. PowerCon 32Aインレット：着脱式PowerCon 32Aコネクタを使用します。(100VAC-240VAC 50Hz / 60Hz)
2. 電源ボタン：ON/OFFボタンの状態は、以下のLEDで表示されます。(緑色：スタンバイ時 / 青色：電源投入時)
3. 外部I/Oポート：リモートON/OFF機能、故障状態
4. アナログバランス入力：CH1、CH2、CH3、CH4 (入力感度26dB / 34dB)
5. チャンネルアッテネーター：CH1、CH2、CH3、CH4
6. チャンネル出力：CH1、CH2、CH3、CH4  
チャンネルごとにLowZ / 70V / 100Vを選択可能
7. 内蔵Wi-Fiアクセスポイント(WAP)：有効化/無効化ボタン
8. 高速10/100MBイーサネット：Cat5またはCat6 / 制御・監視用
9. Dante入力：プライマリー&セカンダリー
10. ファクトリーリセット

## 8チャンネルモデル



1. IECタイプインレット：着脱式IEC用コネクタを使用します。(100VAC-240VAC 50Hz / 60Hz)
2. 電源ボタン：ON/OFFボタンの状態は、以下のLEDで表示されます。(緑色：スタンバイ時 / 青色：電源投入時)
3. 外部I/Oポート：リモートON/OFF機能、故障状態
4. アナログバランス入力：CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8 (入力感度26dB / 34dB)
5. チャンネル出力：CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8  
チャンネルごとにLowZ / 70V / 100Vを選択可能
6. 内蔵Wi-Fiアクセスポイント(WAP)：有効化/無効化ボタン
7. 高速10/100MBイーサネット：Cat5またはCat6 / 制御・監視用
8. ファクトリーリセット

Connectシリーズの各アンプには、アクセサリキットが同梱されています。このキットには、Connectシリーズのアンプを初めて正しくセットアップするために必要なすべてのツールが含まれています。キットに含まれるすべてのアイテムが揃っていることを確認するために、以下のキットのチェックリストと部品番号を参照してください。

## ■ 2チャンネルモデル:Connect 352D/Connect 702D

- 電源ケーブル ・クイックスタートガイド( 英文)、取扱説明書
- 取り外し、交換可能な前面パネルフィルター× 2
- 3ピンユーロブロック入力コネクタ× 3 (アナログ入力用× 2、外部接続入出力ポート用× 1)
- 2ピンユーロブロック出力コネクタ× 2 ・背面ラックサポート金具× 2

## ■ 4チャンネルモデル:Connect 84D/Connect 164D

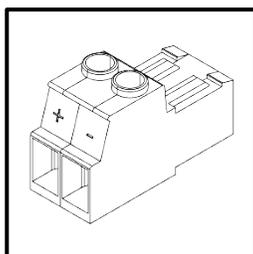
- 電源ケーブル ・クイックスタートガイド( 英文)、取扱説明書
- 取り外し、交換可能な前面パネルフィルター× 2
- 3ピンユーロブロック入力コネクタ× 5 (アナログ入力用× 4、外部接続入出力ポート用× 1)
- 2ピンユーロブロック出力コネクタ× 4 ・背面ラックサポート金具× 2

## ■ 4チャンネルモデル:Connect 354D/Connect 704D

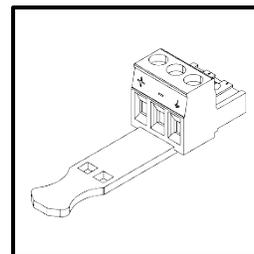
- 電源ケーブル ・クイックスタートガイド( 英文)、取扱説明書
- 取り外し、交換可能な前面パネルフィルター× 2
- 3ピンユーロブロック入力コネクタ× 5 (アナログ入力用× 4、外部接続入出力ポート用× 1)
- 2ピンユーロブロック出力コネクタ× 4 ・背面ラックサポート金具× 2

## ■ 8チャンネルモデル:Connect 88D/Connect 168D

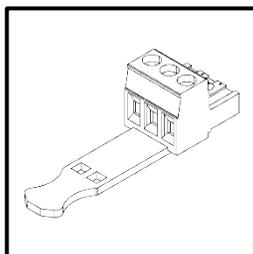
- 電源ケーブル ・クイックスタートガイド( 英文)、取扱説明書
- 取り外し、交換可能な前面パネルフィルター× 2
- 3ピンユーロブロック入力コネクタ× 9 (アナログ入力用× 8、外部接続入出力ポート用× 1)
- 2ピンユーロブロック出力コネクタ× 8(80W/160W) ・背面ラックサポート金具× 2



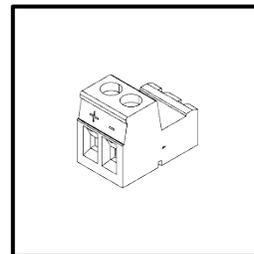
**2-Position Amphenol Anytek Output Connector**  
LEA Part #: CPP10001-1  
350/700W Only\*



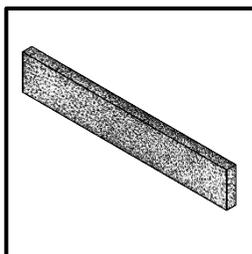
**3-Position Amphenol Anytek Input Connector**  
LEA Part #: CSP10001-1



**3-Position Amphenol Anytek Input Connector**  
LEA Part #: CSP10006-1



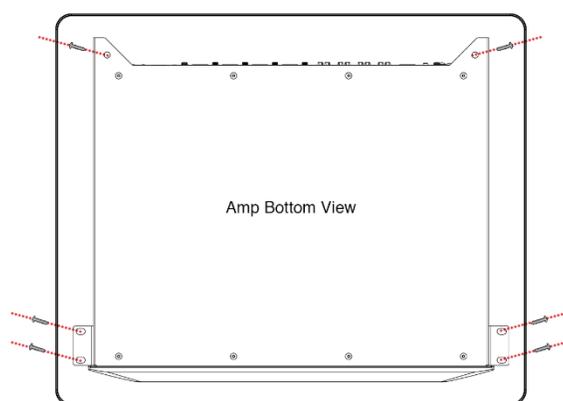
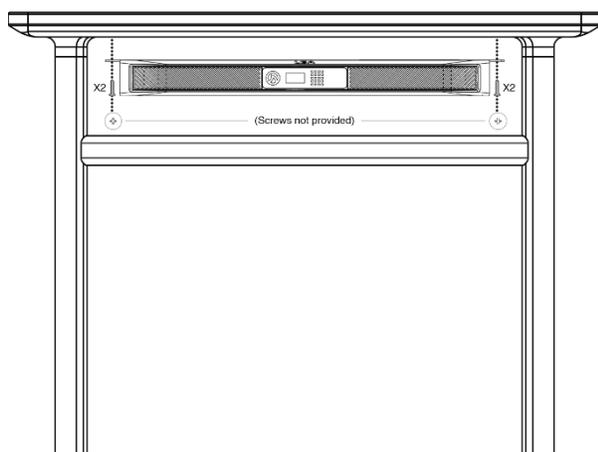
**2-Position Amphenol Anytek Output Connector**  
LEA Part #: CPP10006-1  
80/160W Only\*



**Foam Air Filter**  
LEA Part #: MDF10001-1

## 適切な設置方法

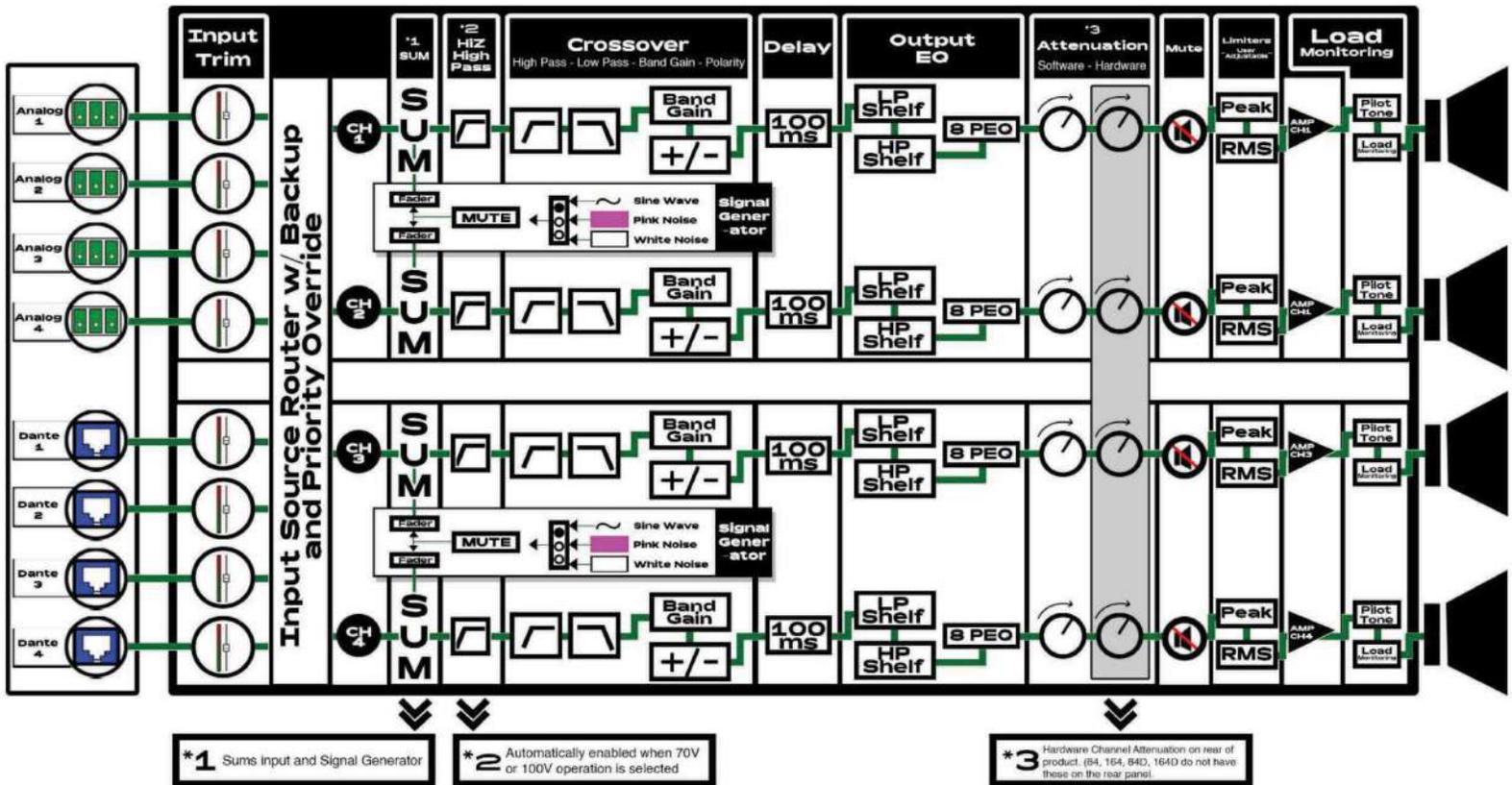
1. LEA Connect シリーズは、標準的な 1U x 19 インチのラックマウント可能な製品です。
2. 箱から出して、ラックイヤーを標準的なラックに直接取り付けすることができます。
3. テーブルの下や壁に取り付ける場合は、ラックイヤーを90度回転させ、ユニットを固定面に取り付けることが可能です。



## 電源投入

1. フロントパネルにボタンがないことにお気づきでしょうか。これは意図的なもので、不要な調整を防ぐためです。
  2. 電源を入れるには、背面にこのようなアイコンが表示されています。  
このボタンを押すと、ボタンの下にあるLEDが青く点灯するのがわかります。  
これでアンプの電源が入り、起動シーケンスが開始されました。
  3. ユニートをオフにするには、"●"アイコンを押します。青いLEDが緑に変わるのがわかります。  
これでアンプは電源オフの状態になりました。
- ※ 本機の電源を切るには、AC電源を切ることもできます。LEDは完全に消灯します。  
電源を入れ直すと、電源を切ったときの状態に戻ります。
4. 工場出荷時の設定では、アナログ1がチャンネル1出力に、アナログ2がチャンネル2出力に、  
といった具合にパスされます。

Connect Series は初めて開梱した時点から、Web UI に接続する必要なく、アナログオーディオ信号を入力から出力に送ることができます。工場出荷時設定ではアナログ1入力はチャンネル1 出力に、アナログ2 入力はチャンネル2 出力に、という形で送られます。出力減衰量は、背面パネルの回り防止式のポテンショメータを使って手で制御できます。アンプに搭載された全機能を利用したい場合は、アンプに接続し、Web UI を使ってアンプの制御、モニタリングを行ってください。



- アナログ入力: 34dBと26dBの入力感度モードが選択可能なバランスアナログ入力。34dBモードでは、入力感度は1.4VRMSで、LowZモードと70Vモードでフル出力が可能です。26dBモードでは、入力感度は2.0VRMSとなり、100Vモードでのフル出力が可能です。これらのモードは、WebUIの入力モードで選択可能です。
- Dante入力: Connect SeriesはDanteコントローラーの機能を完全にサポートしており、48kHzまたは96kHzモードのデュアルリダンダントDanteネットワークを搭載しています。DanteチャンネルはDanteネットワークでルーティングし、Connect SeriesのWebブラウザベースのUIで入力として選択することが可能です。
- AES67入力: Connect Seriesは、Danteコントローラーを介したAES67の機能を完全にサポートしています。指定したアンプのDanteコントローラー内でAES67を受け入れるように設定することができます。DanteからAES67に切り替えると、リセットが必要です。リセットすると、アンプはAES67プロトコルを受け入れることができるようになります。
- プライオリティ・インプット・ルーター 入力ルーターは、任意の入力を任意の出力に送ることができます。また、1つの入力を複数の出力に送ることも、複数の入力を複数の出力に送ることも可能です。出力に送りたい入力チャンネルを選択するだけで、出力に送ることができます。
- ミュートチャンネルのミュートは、入力信号の後にあります。これにより、出力段に向かう信号をミュートしながら、UIでまだ入力信号があるかどうかを確認することができます。
- Lowz/HiZモード: このアンプは、ウェブブラウザベースのUIでチャンネルごとにLowZ/HiZモードを選択することができます。低インピーダンス負荷の場合は、そのチャンネルでLowZモードを選択します。70V負荷の場合は、HiZ 70Vを選択します。100Vの負荷がある場合は、HiZ 100Vを選択します。この選択に基づいて、アンプはLowZまたはHiZの選択に適した出力電圧と電流を設定します。
- HiZモードハイパスフィルター: HiZモードを選択すると、デフォルトで80Hzのハイパスフィルターが有効になっていることがわかります。これはユーザーによる調整が可能なフィルターで、フィルターを上下に動かすことができます。このフィルターは、低周波を通過させないことで、70Vまたは100Vのスピーカートランスの飽和を回避するためのものです。このハイパスフィルターは、クロスオーバーセクションのハイパスフィルターとは別のものです。
- スマート・パワー・ブリッジ Smart Power Bridgeは、従来のアンプのようにチャンネルを失うことなく、ブリッジされたアンプ出力の利点を得ることができる独自の技術です。チャンネルあたり700ワットの定格出力を持つ当社のConnect Series 704アンプを使用している場合、Smart Power Bridgeを有効にすると、そのチャンネルで1400ワットの出力を得ることができ、チャンネル2、3、4も利用できます。従来のアンプをブリッジモードで使用すると、2チャンネルを使用することになります。スマートパワーブリッジでは、出力チャンネルを犠牲にすることなく、ブリッジ出力チャンネルの利点を得ることができます。
- チャンネルスタンバイ: オートスタンバイとは別に、チャンネルスタンバイ機能により、手動でチャンネルの出力を無効化することができます。
- シグナルジェネレーターを内蔵: テストや検証のために、内部信号を出力に送ることができるシグナルジェネレーターを搭載しています。ピンクノイズ、ホワイトノイズ、サインウェーブから選択できます。正弦波モードでは、希望の周波数を選択することができます。

- ローパスクロスオーバーフィルタ: ローパスフィルターは、指定されたフィルター周波数より低い周波数を出力することができます。3種類のフィルターが用意されています: リンクウィッツライリー、バターワースフィルターの3種類があり、1オクターブあたり最大48dBまで設定可能です。
- ハイパスクロスオーバーフィルタ: ローパスフィルターは、指定されたフィルター周波数より高い周波数を出力することができます。3種類のフィルターが用意されています: リンクウィッツライリー、バターワースフィルターの3種類があり、1オクターブあたり最大48dBです。
- バンドパスゲイン: クロスオーバーポイントの後に位置するバンドパスゲインブロックで、 $\pm 15$ dBのゲインブーストまたはゲインリダウを行うことができます。
- 出力ポラリティ: クロスオーバー・ポイントの後にある極性設定で、出力信号を反転させることができます。
- デレイ コンnectシリーズのアンプでは、100ミリ秒のデレイが利用可能です。
- パラメトリックEQフィルター: チャンネルごとに8つのユーザー調整可能なパラメトリックフィルターが用意されています。
- スピーカーリミッター スピーカーリミッターは、出力に接続されたスピーカーを保護するために、出力電圧の制限条件を適切に設定することができます。VRMSリミッターはオーバーヒートを防ぎ、Vピークリミッターはスピーカーの過負荷を防止します。
- アンプ保護リミッター アンプを保護するために出力を制限する必要がある場合、アンプ保護リミッターは自動的に有効になります。アンプの熱容量が限界に達した場合や、AC電圧が出力にフルパワーを供給できる閾値を下回った場合、アンプ保護リミッターが有効になります。これは、アンプを安全に動作させるための工場出荷時の設定です。
- リアルタイム・ロード・モニタリング 任意のチャンネルの負荷インピーダンスをリアルタイムで監視する機能です。出力に5VRMS以上の負荷がかかると、アンプは自動的に各チャンネルのインピーダンスをテストし、WebブラウザベースのUIでその数値を報告します。
- パイロット・トーン・モニタリング 入力信号を送ることなく、出力に接続されたスピーカーのインピーダンスをモニターできるように、出力から不可聴トーンを送信することを目的とした高度な機能です。
- スピーカーのチューニングファイルの保存と読み込み: WebブラウザベースのUIでスピーカーチューニングファイルを保存すると、アンプチャンネルのクロスオーバー、パラメトリックEQ、リミッター、ロードモニターセクションのすべての情報が保存されます。スピーカーチューニングファイルのロードは、アンプチャンネルのクロスオーバー、パラメトリックEQ、リミッター、ロードモニター部にすべての情報をロードします。
- アンプ設定の保存と読み込み ウェブブラウザベースのUIでアンプ設定を保存すると、アンプからすべての情報が保存され、最大4チャンネルの情報が保存されます。ウェブブラウザベースのUIでアンプ設定をロードすると、アンプからすべての情報がロードされ、それは最大4チャンネルの情報です。

#### ■ Dante/AESコンフィギュレーション

Dante Connect Seriesは、8x8 DanteとAES 67デジタルオーディオトランスポートの両方をサポートする Audinate Broadwayモジュールを使用しています。デジタルオーディオネットワークのセットアップには、Audinate Dante Controllerを使用します。DanteまたはAES67ネットワークのセットアップが完了したら、LEA Connect Series WebUIの入力選択ページで、アンプが使用するDanteまたはAES67入力を選択するだけで、そのチャンネルを使用できます。詳細情報またはDante Controller無償ソフトウェアのダウンロードは、こちらをご覧ください：<https://www.audinate.com/products/software/dante-controller>

#### ■ サードパーティーAPIのサポート

サードパーティーAPIは、Connectシリーズの製品ページで利用可能です：  
[www.leaprofessional.com/products](http://www.leaprofessional.com/products)

お使いのシステムのAPIが表示されない場合は、APIリクエストを弊社までお送りください：  
[salesandmarketing@leaprofessional.com](mailto:salesandmarketing@leaprofessional.com)

#### ■ PFC搭載ユニバーサルスイッチモード電源

Connectシリーズのアンプ用に設計された電源は、シングルステージのインターリーブPFC電源です。このタイプの電源では、PFCと絶縁ステージ（通常は2つの別々の電源ステージ）が1つのステージに統合されます。その結果、設計の小型化、高効率化、電力レベルの低コスト化を実現しました。LEAの製品で使用しているPFCのタイプは、アクティブPFCです。パッシブPFCではなくアクティブPFCを選んだのは、アクティブPFCがパッシブPFCに比べて以下のような多くの利点があるからです：第1に、ユニバーサル入力を提供し、安定した出力電圧を生成します。第2に、アクティブPFCは小型・軽量であり、パワーが上がれば上がるほど、その威力を発揮します。3番目 - 広い負荷と入力範囲にわたって力率を統一することができます。4位：アクティブPFCは、入力電流の高調波を低減することができます。

